



2016年4月期3Q

IR資料

株式会社 アイホールディングス
2016年2月

3Q決算概要

売上高はM&Aを含む100店舗の新規出店により前年同期比124.2%、計画比105.7%となった。経常利益は売上高増加及び業務効率化の推進により、前年同期比131.8%、計画比109.8%となった。

(単位:百万円)	15/4期3Q 実績	16/4期3Q 計画	16/4期3Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	136,394	160,242	169,395	33,001	124.2	105.7
売上総利益	20,238	24,628	27,346	7,108	135.1	111.0
売上比(%)	14.8	15.4	16.1			
販売管理費	12,727	15,479	17,341	4,614	136.3	112.0
売上比(%)	9.3	9.7	10.2			
営業利益	7,510	9,148	10,004	2,494	133.2	109.4
売上比(%)	5.5	5.7	5.9			
経常利益	7,824	9,395	10,315	2,491	131.8	109.8
売上比(%)	5.7	5.9	6.1			
親会社株主に帰属 する四半期利益	4,471	5,295	5,531	1,060	123.7	104.5
売上比(%)	3.3	3.3	3.3			
1株当たり 四半期純利益(円)	141.04	167.02	174.44	33.40	123.7	104.4

▶ 単位未満切り捨て

▶ 当社は2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、15/4期3Q1株当たり四半期純利益についても当該株式分割が行われたと仮定して算出

売上高は、処方箋枚数及び単価が共に計画を上回り、前年同期比123.9%、計画比106.5%となった。
セグメント利益は、在宅医療や後発医薬品(GE)の使用促進により、前年同期比138.9%、計画比114.0%となった。

(単位:百万円)	15/4期3Q 実績	16/4期3Q 計画	16/4期3Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	122,592	142,650	151,884	29,292	123.9	106.5
売上総利益	15,911	19,136	21,393	5,482	134.5	111.8
売上比(%)	13.0	13.4	14.1			
販売管理費	6,610	7,649	8,429	1,819	127.5	110.2
売上比(%)	5.4	5.4	5.5			
営業利益	9,300	11,486	12,963	3,663	139.4	112.9
売上比(%)	7.6	8.1	8.5			
セグメント利益	9,608	11,700	13,341	3,733	138.9	114.0
売上比(%)	7.8	8.2	8.8			
店舗数	687	822	842	155	122.6	102.4

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 処方箋枚数118.4%(前年同期比)
- ▶ 処方箋単価104.8%(前年同期比)

売上高は、3店舗の新規出店及び旗艦店舗改装による伸長、インバウンド需要の取り込みにより、前年同期比119.1%となったものの、4店舗の閉店により計画比は94.9%となった。セグメント利益は、大型店2店舗出店に伴う販売促進費等の増加により前年同期増減額は▲428百万円となった。

(単位:百万円)	15/4期3Q 実績	16/4期3Q 計画	16/4期3Q 実績	前年同期 増減額	前年同期比 (%)	計画比 (%)
売上高	13,102	16,445	15,601	2,499	119.1	94.9
売上総利益	4,383	5,506	5,382	999	122.8	97.7
売上比(%)	33.5	33.5	34.5			
販売管理費	4,333	5,573	5,933	1,600	136.9	106.5
売上比(%)	33.1	33.9	38.0			
営業利益	49	▲67	▲551	▲600	-	-
売上比(%)	0.4	-	-			
セグメント利益	92	▲42	▲336	▲428	-	-
売上比(%)	0.7	-	-			
店舗数	55	56	55	0	100.0	98.2

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 客数104.5%(前年同期比)
- ▶ 客単価114.0%(前年同期比)

M&A資金の調達及び支払い等により、ネットキャッシュは▲730百万円となった。

(単位:百万円)

15/4期末			
資産の部		負債の部	
流動資産	46,365	流動負債	54,433
現預金	19,553	短期借入金	6,330
		リース債務	628
固定資産	67,783	固定負債	11,669
投資有価証券	2,872	長期借入金	7,640
		リース債務	1,341
繰延資産	-	純資産計	48,046
資産合計	114,149	負債・純資産合計	114,149

(単位:百万円)

16/4期3Q末			
資産の部		負債の部	
流動資産	57,637	流動負債	64,809
現預金	24,209	短期借入金	6,998
		リース債務	669
固定資産	79,946	固定負債	20,539
投資有価証券	2,880	長期借入金	16,022
		リース債務	1,249
繰延資産	-	純資産計	52,234
資産合計	137,584	負債・純資産合計	137,584

ネットキャッシュ	3,613
自己資本比率(%)	42.0

ネットキャッシュ	▲730
自己資本比率(%)	37.9

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ＝現金及び預金－有利子負債(短期・長期借入金＋リース債務)

新規出店及びM&Aにより、現金及び預金、棚卸資産、土地・建物等が増加し、総資産は15/4期末より23,435百万円増加となる137,584百万円となった。

(単位:百万円)	15/4期3Q末	15/4期末	16/4期3Q末	増減額	
現金及び預金	23,032	19,553	24,209	4,656	
売掛金	7,488	8,369	12,942	4,573	
棚卸資産	10,614	9,909	12,598	2,689	
流動資産合計	48,905	46,365	57,637	11,272	新規出店、 M&Aによる 増加
建物・構築物	10,756	11,678	14,784	3,106	
土地	7,476	7,931	8,323	392	
リース資産	1,444	1,388	1,413	25	
有形固定資産合計	21,376	22,472	27,263	4,791	
リース資産	33	28	17	▲11	
無形固定資産合計	23,788	27,623	33,919	6,296	M&Aによる のれんの 増加
投資有価証券	2,389	2,872	2,880	8	
繰延税金資産	767	984	1,481	497	
敷金・保証金	8,683	9,710	10,008	298	
投資その他の資産合計	16,333	17,688	18,763	1,075	
固定資産合計	61,498	67,783	79,946	12,163	
資産合計	110,404	114,149	137,584	23,435	

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額(有形及び無形固定資産+敷金・保証金)は8,750百万円

▶ 増減額: 15/4期末・16/4期3Q末比較

長期借入金の増加により、負債合計は15/4期末より19,246百万円増加した。

(単位:百万円)	15/4期3Q末	15/4期末	16/4期3Q末	増減額
買掛金	31,309	31,826	40,195	8,369
短期借入金	6,412	6,330	6,998	668
リース債務	618	628	669	41
流動負債合計	51,879	54,433	64,809	10,376
長期借入金	8,412	7,640	16,022	8,382
リース債務	1,425	1,341	1,249	▲92
固定負債合計	12,295	11,669	20,539	8,870
負債合計	64,175	66,103	85,349	19,246
資本金	8,682	8,682	8,682	-
資本剰余金	7,872	7,872	7,658	▲214
利益剰余金	29,914	31,639	36,219	4,580
株主資本合計	46,051	47,776	52,141	4,365
純資産合計	46,229	48,046	52,234	4,188
負債純資産合計	110,404	114,149	137,584	23,435

M&A資金等

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ 増減額: 15/4期末・16/4期3Q末比較

16/4期計画(連結)

16/4期売上高は医薬事業120店舗、物販事業4店舗の新規出店により、前年同期比116.2%、経常利益はGE使用促進、技術料の増加及び業務効率化により前年同期比117.1%を見込む。

(単位:百万円)	14/4期 実績	15/4期 実績	16/4期 計画	増減額	前年同期比 (%)
売上高	170,225	187,904	218,280	30,376	116.2
売上総利益	25,748	28,961	34,290	5,329	118.4
売上比(%)	15.1	15.4	15.7		
販売管理費	15,635	17,509	20,890	3,381	119.3
売上比(%)	9.2	9.3	9.6		
営業利益	10,113	11,452	13,400	1,948	117.0
売上比(%)	5.9	6.1	6.1		
経常利益	10,587	11,697	13,700	2,003	117.1
売上比(%)	6.2	6.2	6.3		
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,259	6,197	7,230	1,033	116.7
売上比(%)	3.1	3.3	3.3		
1株当たり 当期純利益(円)	165.04	195.45	228.02	32.57	116.7
年間配当金(円)	30.00	30.00	40.00	10.00	133.3

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減: 15/4期・16/4期比較 ▶ 前年同期比: 15/4期・16/4期比較

▶ 当社は、2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、14/4期の1株当たり当期純利益及び年間配当金についても当該株式分割が行われたと仮定して算出

3QReview

実績検証①(対前年同期)

売上高は、医薬事業において新薬による単価上昇、新規出店及び前期出店の寄与による処方箋枚数増加、物販事業での売上高増加により、前年同期比124.2%となった。営業利益は、売上高増加及び調剤報酬改定への対応が進んだことにより前年同期比133.2%となった。

(単位:百万円)	15/4期3Q 実績	16/4期3Q 実績	増減額	前年同期比 (%)
売上高	136,394	169,395	33,001	124.2
売上総利益 売上比(%)	20,238 14.8	27,346 16.1	7,108	135.1
販売管理費 売上比(%)	12,727 9.3	17,341 10.2	4,614	136.3
営業利益 売上比(%)	7,510 5.5	10,004 5.9	2,494	133.2
経常利益 売上比(%)	7,824 5.7	10,315 6.1	2,491	131.8

売上高検証 対前年同期(%)		売上高	枚数	単価
医薬	既存店(591店)	109.9	100.1	109.8
	前期出店(148店)	423.2	418.5	101.0
	全店(842店)	124.1	118.4	104.8

		売上高	客数	単価
物販	既存店(49店)	111.1	100.2	110.9
	前期出店(3店)	751.7	1,283.9	58.5
	全店(55店)	119.1	104.5	114.0

営業利益検証

医薬	+3,663百万円 売上増及びGE使用促進、在宅医療推進による技術料の増加
物販	▲600百万円 大型店2店舗出店に伴う販売管理費及び販売促進費の増加

▶ ()内はFC2店舗、休店5店舗を除いた店舗数

▶ 単位未満切り捨て ▶ 上記PLには連結調整を含む

実績検証②(対計画)

売上高は、医薬事業での新薬による処方箋単価上昇及び前期出店の寄与により計画比105.7%となった。営業利益は、医薬事業での売上高増加が大きく寄与したことにより計画比109.4%となった。

(単位:百万円)	16/4期3Q 計画	16/4期3Q 実績	増減額	計画比 (%)
売上高	160,242	169,395	9,153	105.7
売上総利益 売上比(%)	24,628 15.4	27,346 16.1	2,718	111.0
販売管理費 売上比(%)	15,479 9.7	17,341 10.2	1,862	112.0
営業利益 売上比(%)	9,148 5.7	10,004 5.9	856	109.4
経常利益 売上比(%)	9,395 5.9	10,315 6.1	920	109.8

売上高検証 対計画(%)		売上高	枚数	単価
医薬	既存店(591店)	104.4	99.4	105.0
	前期出店(148店)	106.4	101.9	104.5
	全店(842店)	106.2	101.8	104.2

		売上高	客数	客単価
物販	既存店(49店)	107.2	-	-
	前期出店(3店)	76.5	-	-
	全店(55店)	94.9	-	-

営業利益検証

医薬	+1,477百万円 売上高増加及びGE使用促進、在宅医療推進による技術料の増加、プロジェクトによる労務費、経費の抑制
物販	▲484百万円 大型店2店舗出店に伴う販売管理費及び販売促進費の計画上振れ

▶ ()内はFC2店舗、休店5店舗を除いた店舗数

▶ 単位未満切り捨て ▶ 上記PLには連結調整を含む

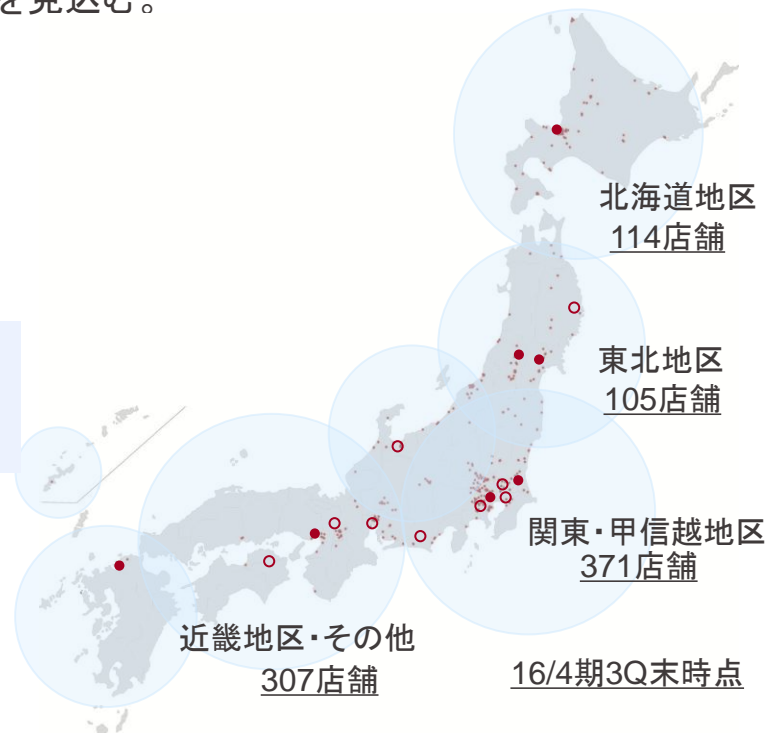
11月に四国を拠点とするNPホールディングス(株)がグループ入りしたことにより、16/4期3Q時点では、M&A含めて新規出店は100店舗となった。通期では124店舗の出店計画を見込む。

■ 総店舗数 **897店舗** (医薬842店舗、物販55店舗)

■ 医薬・物販出店計画

	16/4期3Q		通期 計画
	計画	実績	
医薬 オーガニック	36	25	56
医薬 M&A	32	72	64
物販	3	3	4
合計	71	100	124

16/4期末店舗数
921店舗見込



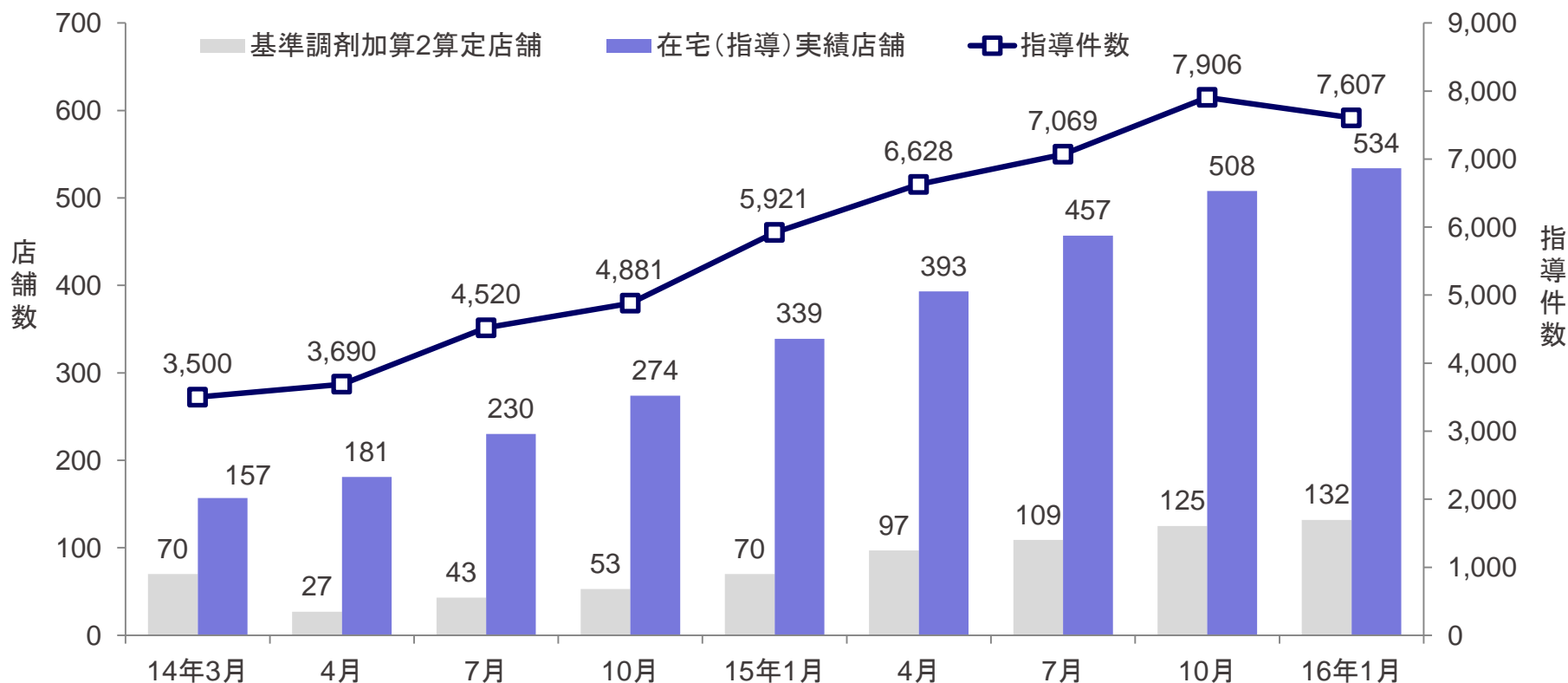
- ▶ 総店舗数にはFC2店舗を含む
- ▶ 確保物件数84件

■ 医薬出退店推移

	07/4期	08/4期	09/4期	10/4期	11/4期	12/4期	13/4期	14/4期	15/4期	16/4期 3Q
オーガニック	14	23	24	21	18	27	38	36	40	25
M&A 店舗数	18	91	3	3	35	28	38	26	119	72
取得会社数	1	2	1	0	6	9	11	13	15	13
EV/EBITDA倍率	7.54	4.82	2.21	3.45	5.60	5.51	5.09	3.94	4.77	5.75
閉店	3	5	8	2	5	9	10	6	21	9
店舗数	247	356	375	397	448	494	560	616	754	842

在宅実績のある店舗数は2016年1月末時点で534店舗となり、基準調剤加算2算定店舗数は132店舗となった。在宅推進には地域における医療・介護施設との連携が重要であり、当社の強みである営業力を活用し、今後も積極的に推進していく。

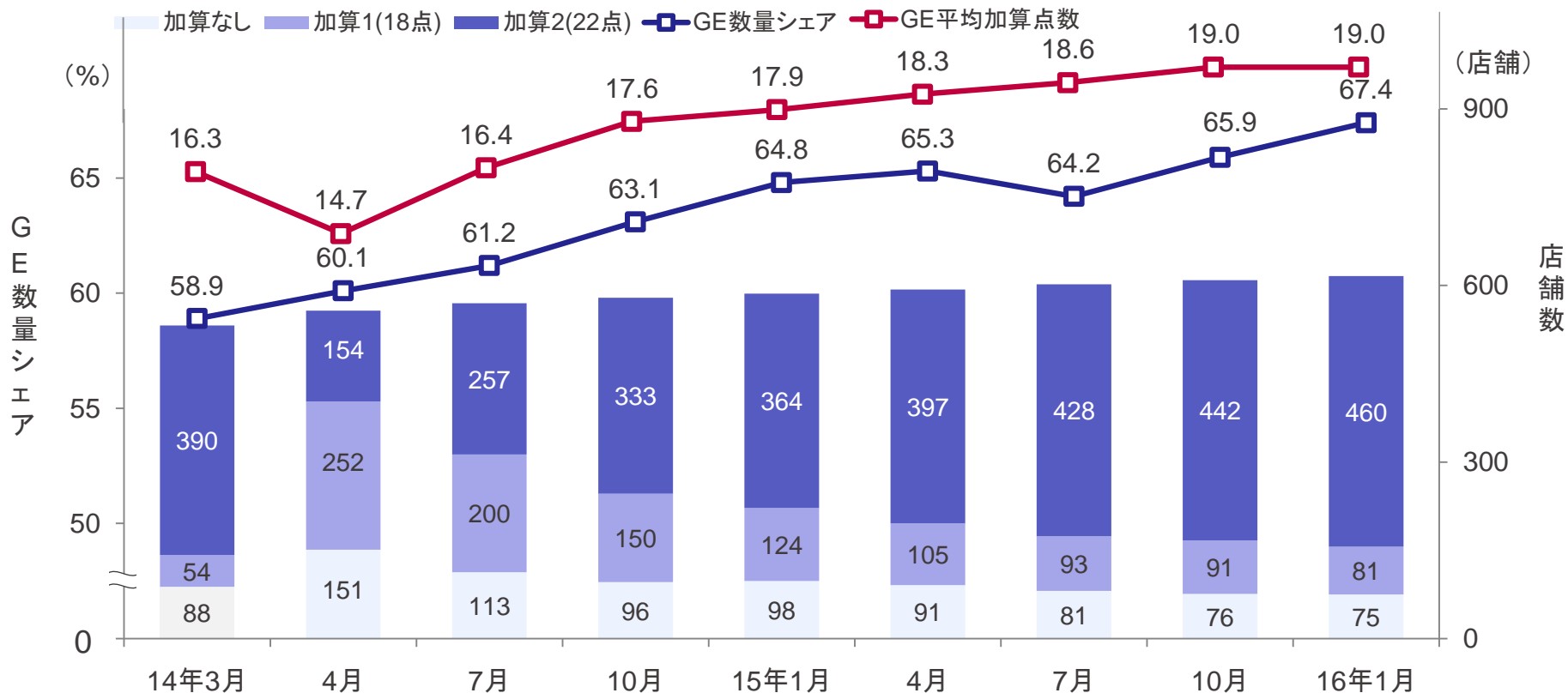
■ 基準調剤加算2及び在宅実績推移



- ▶ 在宅(指導)実績店舗: 在宅訪問指導及び居宅療養管理指導実施店舗
- ▶ 主要4社での集計

厚生労働省では「2020年度末までにGE数量シェアを80%」という目標設定が検討されている。当社は2016年1月末時点で67.4%、加算点数は19.0点となり、今後も患者様へ啓発活動を積極的に行いGE変更を推進する。

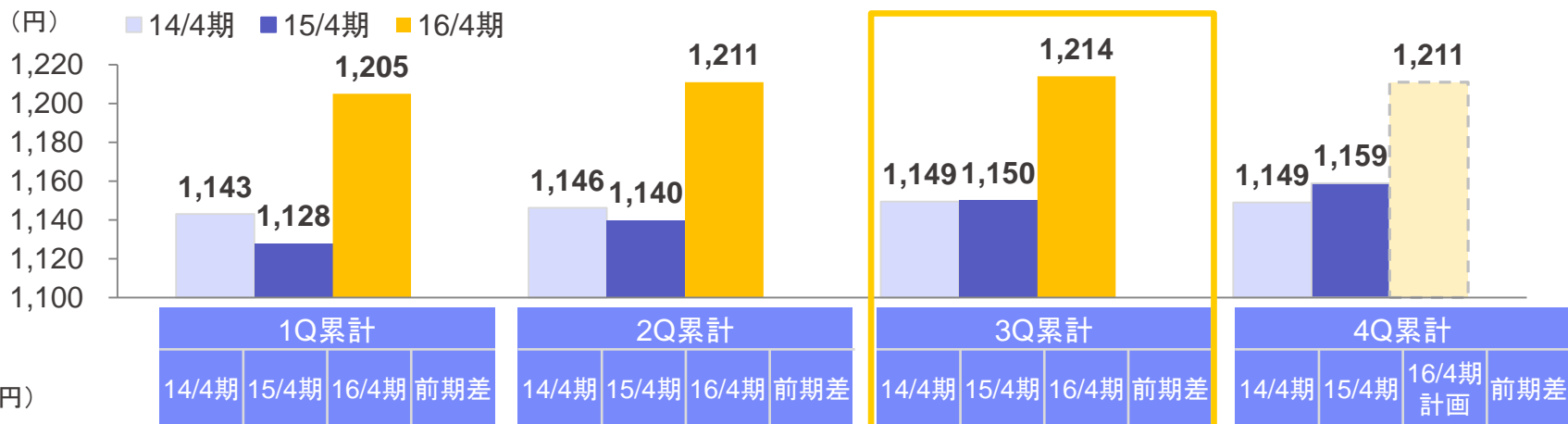
■ GE進捗状況



- ▶ 14年3月は改定前の旧基準
- ▶ GE平均加算点数: 処方箋1枚当たり平均点数
- ▶ 主要4社での集計

2014年4月の調剤報酬改定に対応し、在宅医療やGE使用促進等の施策に取り組んだことで、主要改定項目の技術料単価は前期を大幅に上回った。

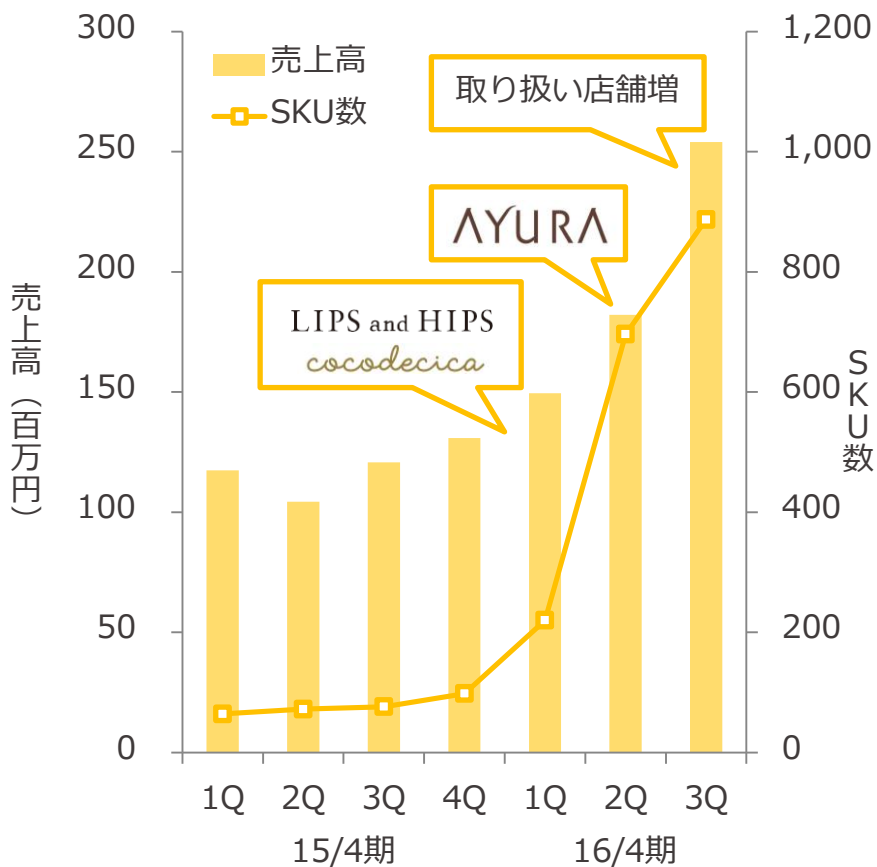
■ 改定項目単価推移



- ▶ 受付1件当たり単価
- ▶ 主要4社13/4期以前出店店舗(480店舗)

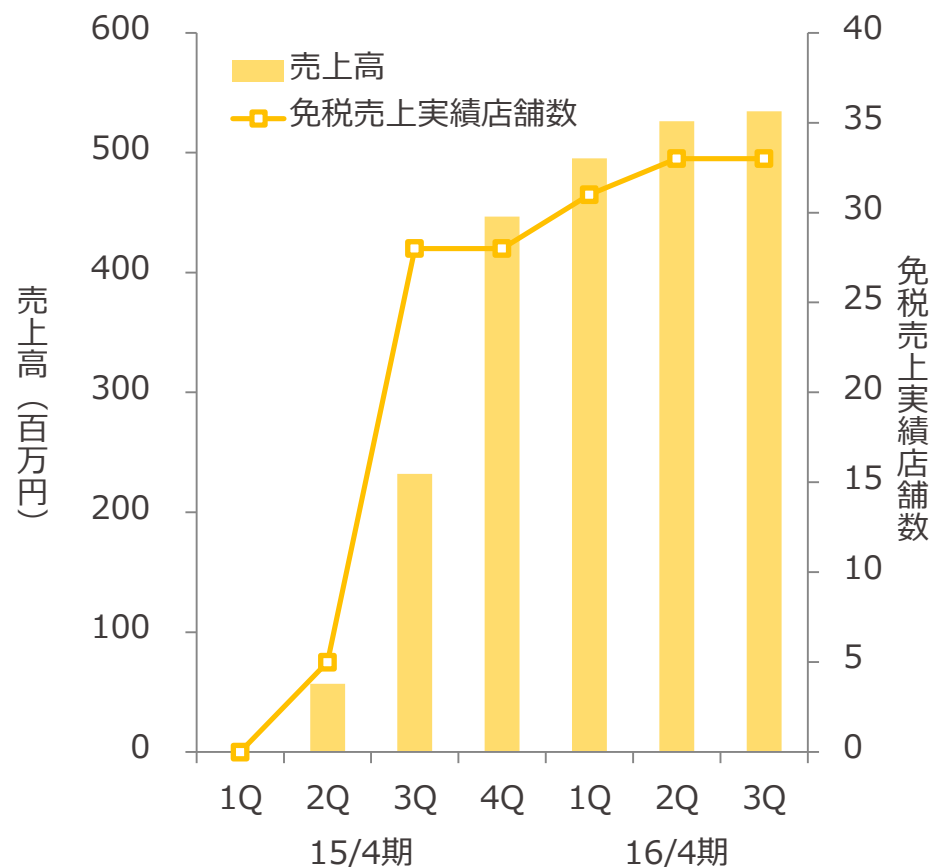
16/4期より注力しているPBは順調に推移し、3Q時点で今期計画していた350SKUを大きく上回る887SKUを展開している。また、インバウンド需要の早期取り込みにより免税売上高も堅調に推移している。

◆PB売上高推移



▶ SKU数は四半期末時点

◆免税売上高推移



▶ 免税売上実績店舗数は四半期末時点

参考資料



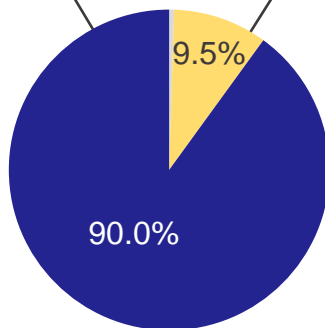
アインホールディングス

代表者 代表取締役社長 大谷 喜一
設立 1969年8月
時価総額 171,855百万円 2016年1月末現在
売上高・利益 売上高 218,280百万円 営業利益 13,400百万円 2016年4月期末計画
従業員数 7,962名(嘱託、パート含) 内薬剤師:3,473名(連結延人数) 2016年1月末現在
店舗数 897店舗 (調剤薬局842舗、ドラッグストア55店舗) 2016年1月末現在

医薬事業



事業内容 保険調剤及び医薬品等販売業
 後発医薬品卸売販売業
 人材派遣業
 医療コンサルティング業
主要会社 (株)アインメディオ、(株)ダイチク
 (株)あさひ調剤、(株)メディオ薬局
 NPホールディングス(株)
 (株)ホールセールスターズ
 (株)メディウエル、医療開発(株) 他



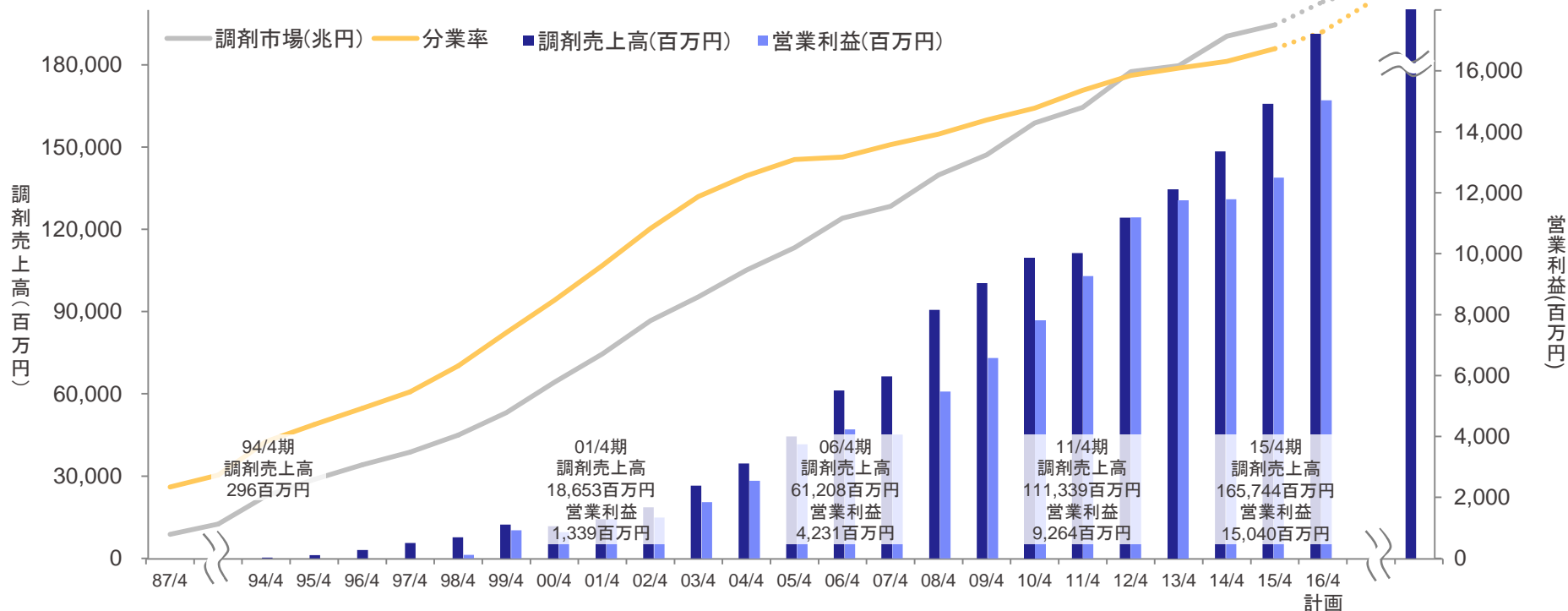
2016年4月期計画
 連結売上高
 218,280 百万円

物販事業



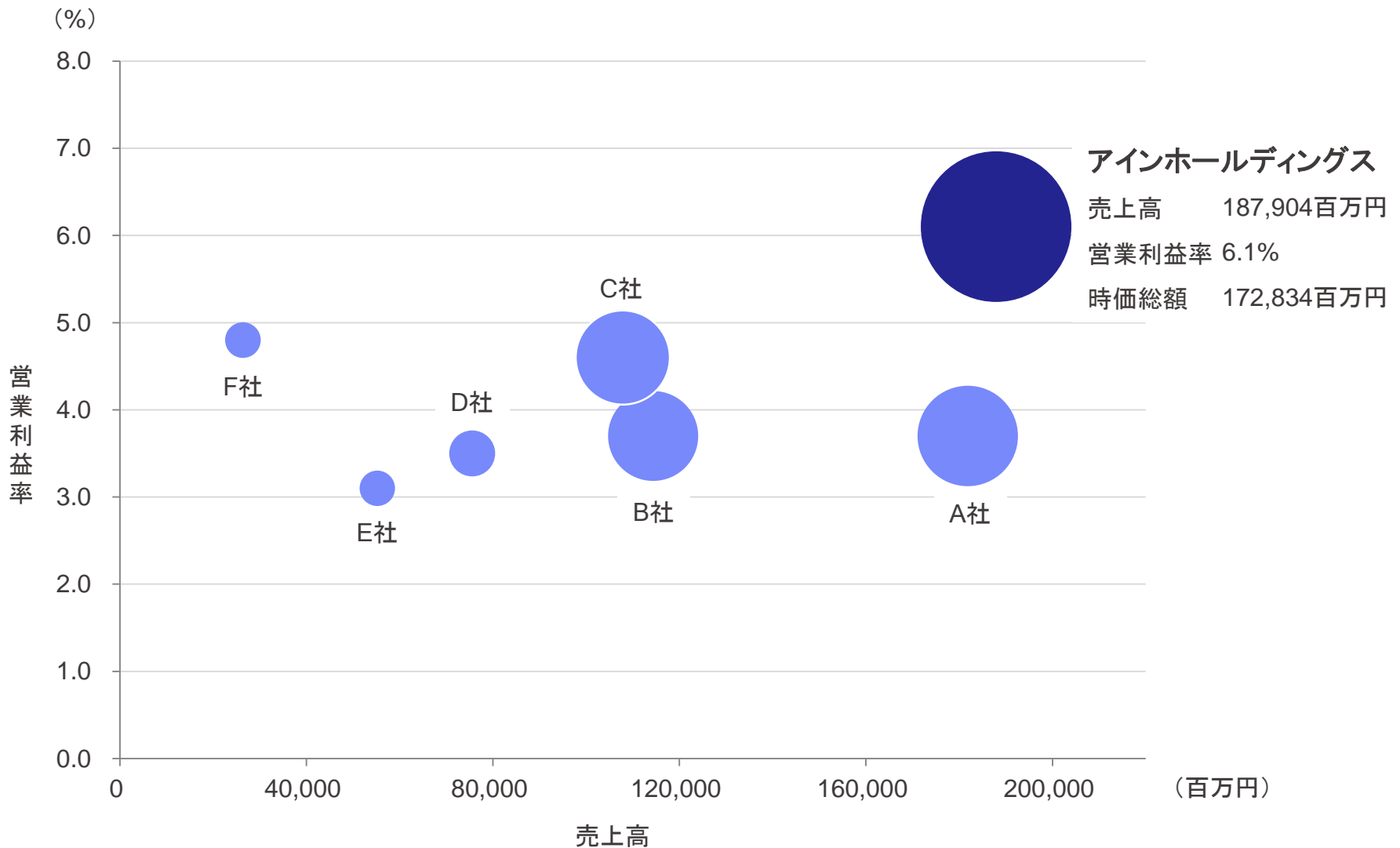
事業内容 コスメ&ドラッグストア運営
 化粧品、化粧用具等製造・販売
主要ショップ AINZ TULPE
DRUG AND COSMETIC
 le trois
主要ブランド AYURA
 LIPS and HIPS
 cocodecica

	1986年	1993年	1995年	2000年	2005年	2010年	2014年	20XX年
分業率	9.7%	15.8%	20.3%	39.5%	54.1%	63.1%	68.7%	85%
市場	0.33兆円	0.87兆円	1.23兆円	2.76兆円	4.59兆円	6.08兆円	7.19兆円	8兆円



店舗数	2	13	29	34	39	48	58	75	92	148	148	193	218	247	356	375	397	448	494	560	616	754	874
M&A (店舗数)										1社 (56)		2社 (40)	2社 (30)	2社 (35)	2社 (91)			6社 (33)	9社 (21)	11社 (28)	13社 (22)	15社 (119)	

▶ 分業率: 日本薬剤師会より、調剤市場: 厚生労働省調剤医療費の動向より



▶ 各社15/3期決算短信を基に作成(当社15/4期) ▶ 円の大きさは2016年1月末の時価総額に比例

本件に係る照会先

**株式会社アインホールディングス
経営企画室**

TEL011-814-0010

FAX011-814-5550

<http://www.ainj.co.jp/>

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



AIN GROUP